

社協いそ支部だより

第26号

令和4年6月10日 発行

発行: 狭山市社会福祉協議会入曽支部

所在地: 狭山市南入曽428-3

電話: 2959-3004

(入曽地域交流センター内)



支部長あいさつ

初夏の候、皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃は、社協入曽支部の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

令和3年度は、支部長就任1年目で不手際も有り、皆様方にはご迷惑をお掛け致しましたが、皆様方の深いご理解と多大なご支援ご協力を賜り、滞りなく進めていくことができました。深く感謝申し上げます。

楽しみにしていた皆さんには、大変残念ですが、事情をご理解頂けるものと思っております。感染防止と活動の両立に向けて、試行錯誤の難しい1年でした。

コロナの影響で、最も大切な人と人とのつながりの機会を減らし、地域の絆をも揺るがそうとしている生活環境の変化の中であって、席ることを模索して工夫しながら、活動に取り組んで参りました。

8回開催予定の会食会、4回開催予定の支部講演会は全て中止となってしまいましたが、厳しい状況の中であって

- ①2回の社協入曽だよりの発行
- ②敬老事業の実施
- ③高齢者友愛訪問
- ④高齢者見守りカードの発行
- ⑤入曽地区福祉マップ(第4版)の発行

など、活動出来ましたことは大きな成果で有ったと思います。

令和4年度は、コロナの1日も早い終息を願い通常の活動が出来ることを願って居りますが、先の見えない戦いはまだまだ続くものと思われます。今、気を緩める訳には参りません。

これからも、自分の身は自分で守ることで1人1人が今までのように感染防止対策をしっかり行い、危機感、緊張感を持って、行動することが大切であると思ひます。

社協入曽支部は、地域における最も身近な存在として、その役割はますます重要になって参ります。

今後も地域の皆様のご支援を頂きながら、感染状況を注視しながら活動に取り組みたいと考えて居ります。

皆様方のますますのご健勝ご多幸をご祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

狭山市社会福祉協議会入曽支部 支部長 橋本 良春

NPO 法人 いりそ支え合い「たっち」設立

生活支援体制整備事業いりそ支え合い「たっち」については、前号(第25号、令和3年12月10日発行)でご紹介致して居り任意団体として活動して参りましたが、近年の社会情勢や地域での信頼や活動需要を見ますと、今後は広く市民の皆様のご理解と協力を得るとともに、行政及び地域の諸団体などとの連携、協力を深めて行く事が重要であると思ひました。

それには、社会的に認められた公的な組織として、特定非営利法人格の取得が最適であるとの思いから設立することに至りました。

法人化することによって今まで行って来た、地域サロン事業、生活支援サービス事業、ノルディックウォーク事業を充実させるとともにさらに子ども支援事業、相談事業など、本会の活動が行政及び地域の諸団体とのつながりを、より充実、発展できるよう、そして地域で必要とされる福祉活動をより組織的に活動出来良務めて参ります。

皆様方には、より一層のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

いりそ支え合い「たっち」会長 橋本 良春

入曽地域交流センター長あいさつ

令和4年4月1日付けで入曽地域交流センターの所長となりました田中夏月と申します。
また、今年度はその他に岩田美穂、吹上彩女の2名も着任し、女性職員合わせて3名の仲間入りしました。

社協いりそ支部の皆様は、地域の身近な支え手であり、私たち職員も微力ではありますが活動のお手伝いをさせていただければと思います。

また、入曽地域交流センターでも連携した事業を計画し、地域が元気になるような催しをおこなっていききたいと考えています。

コロナ禍であっても地域のつながりが途絶えないよう感染状況を見極めながら工夫してできることを共に増やしていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



社協いりそ支部担当職員よりあいさつ

これまで社協入曽支部の担当をさせていただきましたが、この春より他の地区を担当することになりました。

会食会や講演会等をとおして、福祉委員の皆さんとともに地域の交流やつながりづくりのお手伝いができたことはかけがえのない経験になりました。

長引くコロナ禍による課題もありますが、今後とも多くの方に無理のない範囲で支部活動にご協力・ご参加いただければと思います。

ありがとうございました。

狭山市社会福祉協議会 地域福祉担当 浦野

今年度より社協入曽支部の担当となりました森と申します。

2年前より、いりそ支え合い「たっち」の担当をさせていただいております。今年度からは、「たっち」と支部の2つの担当として、より一層入曽地区に深く関わらせていただければと思っております。

コロナの影響で、今までのような地域活動が難しい中で、コロナでも、コロナだからこそ必要となる、できることを入曽地区の皆様と一緒に考えていながら、活動をしていきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願い致します。

狭山市社会福祉協議会 地域福祉担当 森

STOP!

振り込め詐欺



マスクによる熱中症にご注意ください!

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節が難しくなります。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク・換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

